

平成 29 年度 特記プロジェクト 交通計画室

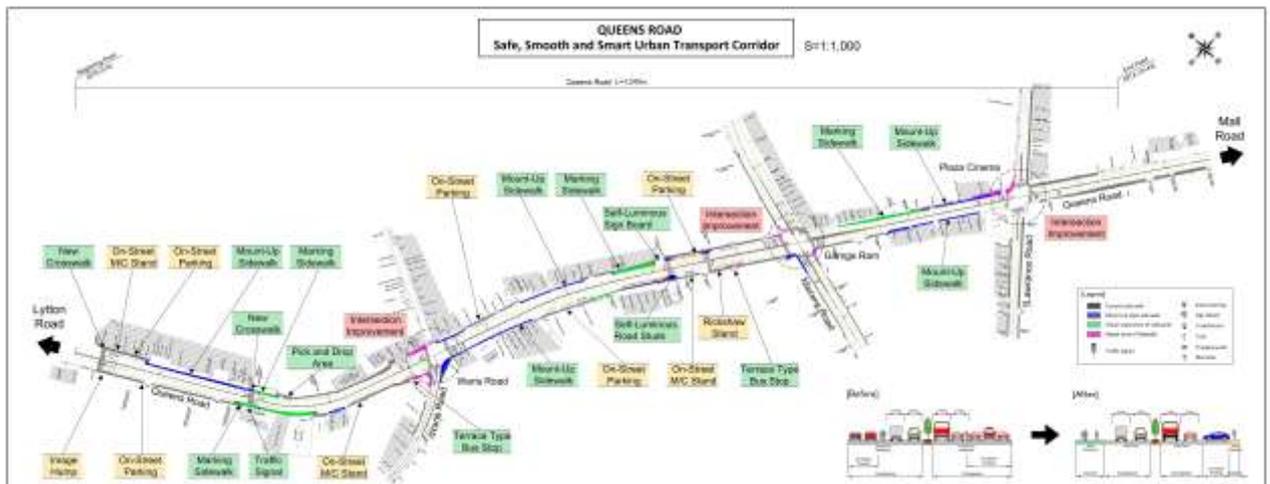
パキスタン国ラホールセントラル地区 交通管理能力強化プロジェクト

1) 目的、背景

パキスタン第 2 の都市であり、約 1 千万人を擁するパンジャブ州の州都ラホール。急速なモータリゼーションの進展により交通渋滞が深刻化していました。2012 年に BRT 路線 (Metro Bus System (MBS)) が整備され、一部の交通軸の交通緩和に貢献したのですが、ラホール都心部では歴史的建造物も多く、建物が密集しているため新たな道路整備や拡張は困難で、交通管理施策が渋滞緩和のカギを握っています。しかしながら、有効な交通管理が行われていないため、交通渋滞は再び悪化しはじめています。2016 年より「ラホールセントラル地区における交通管理能力強化プロジェクト」ではラホールにおける交通混雑緩和に必要な交通管理能力の向上を目的に、交通管理・交通円滑化事業を中心とした対策の企画立案及び実施能力を強化する活動を行っています。

2) 検討内容

今年度はラホールにおける交通混雑緩和に必要な交通管理能力の向上を目的にパイロットプロジェクトとしてコリドーマネジメントと称し、交差点改良や歩道整備、横断歩道、押し釘式信号設置等をはじめとする総合的な交通管理、交通安全施策を実施しました。



パイロットプロジェクト コリドーマネジメント計画図

3) 検討結果

現在、交通調査やアンケート調査結果については分析中ですが、キャンペーン期間中には地元の交通警察の協力の下、とりわけ車道にはみ出して駐車していた車両が激減し、歩道も連続して歩きやすく、横断歩道もきちんと整備され効果が発現しました。

4) 今後の取組

単路部に設けられた押し釦式信号や歩道のペイント、バイク用スタンドなどパキスタン、ラホールでは珍しい安全施設であり、市民の理解を得ることが難しい一面もあった。これからも継続あるいは他地域に発展して交通管理していく上では継続的な交通安全教育も肝要であり、また当局の一層の交通管理能力の向上が求められる。